



日中笹川医学協カプロジェクト

笹川医学奨学金進修生同学会事業

2022 年度事業報告書

笹川医学奨学金進修生同学会

公益財団法人 日中医学協会

目次

1 短期診療技術研修.....	1
1.1 高血圧研修(新疆ウイグル自治区).....	2
1.2 腹腔鏡研修(湖南省).....	3
1.3 呼吸器疾患研修(北京市).....	4
1.4 腹腔鏡研修(吉林省).....	5
1.5 腹腔鏡研修(遼寧省).....	6
2 中長期診療技術・技能研修.....	7
2.1 高血圧研修(新疆ウイグル自治区).....	8
2.2 胃腸外科研修(吉林省).....	9
2.3 肝胆膵外科研修(四川省).....	10
3 地域医療支援活動.....	11
3.1 新疆ウイグル自治区医療支援活動.....	12
3.2 四川省医療支援活動①.....	13
3.3 四川省医療支援活動②.....	14
4 支部学術会議.....	15
4.1 華東地区支部学術交流会.....	16
4.2 東北地区支部学術交流会.....	19
4.3 天津・華北・華中地区支部学術交流会.....	22
4.4 西北地区支部学術交流会.....	25
4.5 華南地区支部学術交流会.....	28
4.6 西南地区学術交流会.....	31
4.7 日本支部学術交流会.....	34
5 日中ハイエンド医学フォーラム.....	37
5.1 「大健康」フォーラム.....	38
6 広報活動.....	42
6.1 『笹川生通訊』.....	43

1 短期診療技術研修

1 短期診療技術・技能研修

1.1 高血圧研修(新疆ウイグル自治区)

期 間	2022年7月25日(月)~2022年7月29日(金)
会 場	新疆ウイグル自治区人民医院高血圧センター
実施責任者	李南方 新疆ウイグル自治区人民医院副院長・高血圧センター長 (第7期、第40期生)
受講者	内科医師251名(新疆ウイグル自治区)
研修内容	新疆ウイグル自治区人民医院高血圧センターの講師陣によるハイブリッド形式講義



授業様子



集合写真

報告:5日間15回の高質な専門講義と現場でのデモンストレーションについて、受講生の好評を獲得し、オンラインとオフラインの参加者は合計251人、新疆ウイグル自治区内の医療スタッフの二次的な高血圧、特に睡眠時無呼吸症候群に対する知識と重視度をアップした。今回の一連の睡眠時無呼吸症候群の研修を通じて、医療スタッフの睡眠時無呼吸症候群に対する理解を向上させ、診断と治療を標準化することが期待される。

1 短期診療技術・技能研修

1.2 腹腔鏡研修(湖南省)

期 間	2023年2月25日(土)~26日(日)
会 場	郴州奧米茄大酒店
実施責任者	李永国 湖南旺旺医院院長(第1期生)
受 講 者	内科医師150名(湖南省)
研 修 内 容	湘雅二医院の講師陣による講義と現地指導



講義と集合写真

報告: 郴州市外科年会と共同開催し、参加者が以前より多く、湘雅二医院胆膵外科の先生より講義と現地病院の回診を行い、現地医療スタッフの好評を受けた。

1 短期診療技術・技能研修

1.3 呼吸器疾患研修(北京市)

期 間	2023年3月16日(木)~18日(土)
会 場	中日友好医院
実施責任者	孟華川 中日友好医院院弁国際交流合作弁公室 (第42期生<学位取得コース>)
受 講 者	外科医師40名(他オンライン2,000名)
研 修 内 容	中日友好医院の講師陣によるハイブリッド形式講義、ビデオ演示



中日笹川医学培训班暨第八届中日友好医院三期呼吸康复实操培训班合影



北京 中日友好医院 2023年3月16日

講義と集合写真

報告:今回は初めて中国国家遠隔医療与互聯網医学センター(インタネット)の協力を得て、LIVE 配信した。2,000人余りの医師がオンラインにて研修に参加した。

1 短期診療技術・技能研修

1.4 腹腔鏡研修(吉林省)

期 間	2023年3月21日(火)~22日(水)
会 場	吉林大学中日聯誼医院
実施責任者	孫立波 吉林大学中日聯誼医院胃腸外科主任醫師・教授(第19期生)
受 講 者	外科醫師40名
研 修 内 容	吉林大学中日聯誼医院の講師陣による講義と術式演示
 会場内	
 集合写真	
<p>報告: 研修生たちは、研修を通して、腹腔鏡手術の価値に対する理解を深め、基本的な手術のポイントを習得し、腹腔鏡手術を実施する自信を深めた。吉林省の一級病院における腹腔鏡手術のレベルアップを促進する重要な役割を果たした。吉林省の外科医の日中友好交流への影響力を強化し、将来の中日友好交流と協力のための人材基盤を築いた。研修期間中に、李忠金秘書長は同病院の若手・中堅医師に笹川医学奨学金制度を紹介し、日本への留学希望を与えた。</p>	

1 短期診療技術・技能研修

1.5 腹腔鏡研修(遼寧省)

期 間	2023年3月23日(木)~25(土)
会 場	中国医科大学研修センター
実施責任者	趙 群 中国医科大学附属盛京医院教授 (第10期生)
受 講 者	外科医師30名
研 修 内 容	中国医科大学附属盛京医院の講師陣による講義



豚の胃を使用し、ハンズオン講習



集合写真

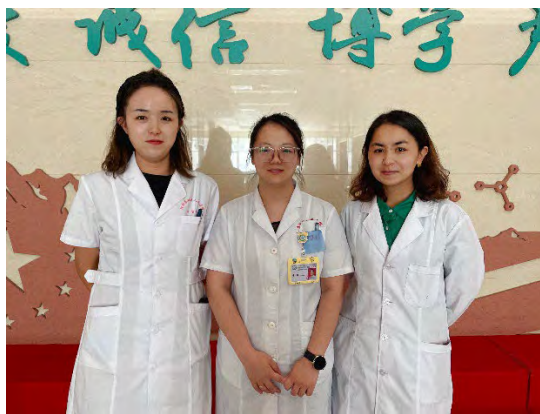
報告: 初日に講義を中心にし、二日目は盛京病院から4名の先生が指導し、豚を使用したハンズオンを行われた。主に超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)と内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を行われた。今回の研修を通して、手術の熟練度をさらに向上させた。

2 中長期診療技術・技能研修

2 中長期診療技術・技能研修

2.1 高血圧研修(新疆ウイグル自治区)

期 間	2022年8月～2023年1月
場 所	新疆ウイグル自治区人民医院
実施責任者	李南方 新疆ウイグル自治区人民医院高血压センター長、 新疆高血压研究所所長(第7期生・第40期生<共同研究コース>)
受講者	努爾比亞・依明(新疆ウイグル自治区喀什地区第一人民医院住院医師) 程嬌(新疆ウイグル自治区阿勒泰地区人民医院住院医師) 約麦爾・麦麦提(新疆ウイグル自治区輪台县人民医院住院医師) 杜佳莉(新疆ウイグル自治区奇台县人民医院住院医師)
研修内容	二次性高血圧症の臨床研修

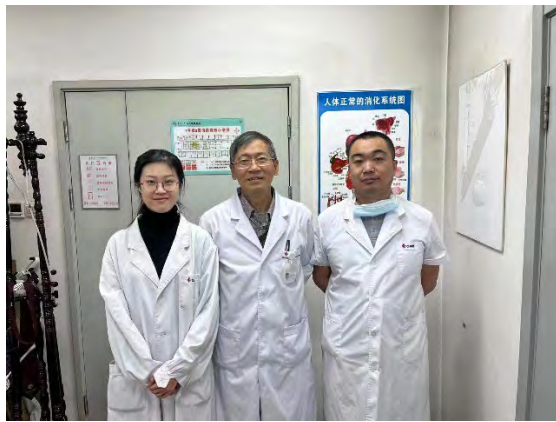


直接指導

2 中長期診療技術・技能研修

2.2 胃腸外科研修(吉林省)

期 間	2022年8月～2023年1月
場 所	吉林大学中日聯誼醫院
實施責任者	孫立波 吉林大学中日聯誼醫院胃腸外科教授(第19期生)
受 講 者	李海東(吉林省長春市長春建工醫院普通外科主治醫師) 曹語桐(吉林省長春市長春通源醫院普通外科住院醫師)
研 修 內 容	腹腔鏡研修



直接指導

2 中長期診療技術・技能研修

2.3 肝胆胰外科研修(四川省)

期 間	2022年8月～2023年1月
場 所	四川大学華西医院
実施責任者	李可洲 四川大学華西医院胰臟外科教授(第27期生)
受 講 者	廖凱(四川省成都市金堂县人民医院普通外科醫師) 周翔(四川省成都市温江区人民医院肝胆外科醫師)
研 修 内 容	腹腔鏡研修





3 地域医療支援活動

3 地域医療支援活動

3.1 新疆ウイグル自治区医療支援活動

期 間	2022年6月21日(木)～22日(金)
会 場	沙湾市人民医院(新疆ウイグル自治区塔城地区)
実施責任者	李南方 新疆ウイグル自治区人民医院副院长・高血压センター長 (第7期、第40期生)
参加者	120名(県レベルの病院に勤務する医師)
活動内容	李南方センター長を含む高血压センター医師ら 7 名が沙湾市人民医院で高血压治療についての講義、院内回診及び実地指導を行った。



講義



回診

問診

3 地域医療支援活動

3.2 四川省医療支援活動①

実施日	2023年3月9日(木)
場所	雅安職業技術学院附属医院(四川省雅安市)
実施責任者	冉玉平 四川大学華西医院皮膚性病科教授(第4期生)
参加者	150名(雅安職業技術学院附属医院及び周辺病院皮膚科医師・看護師)
活動内容	冉玉平教授が診療指導を行った後、雅安職業技術学院附属医院皮膚科医の難治疾患症例報告に対して講評を行った。冉玉平教授が高齢者の真菌感染症について講義を行った。最後に、皮膚科治療機器を寄贈した。



冉玉平教授による講義



現地医師と病棟回診



寄贈式

3 地域医療支援活動

3.3 四川省医療支援活動②

実施日	2023年3月23日(木)
場所	蘆山県人民医院(四川省雅安市蘆山県)
実施責任者	冉玉平 四川大学華西医院皮膚性病科教授(第4期生)
参加者	120名(雅安職業技術学院附属医院皮膚科医師・看護師及び蘆山県人民医院の皮膚科医)
活動内容	冉玉平教授はじめ雅安職業技術学院附属医院皮膚科医らが蘆山県人民医院で実地指導を行った。また、冉教授の著書を寄贈した。



現地問診



著書贈与

4 支部学术會議

4 支部学術会議

4.1 華東地区支部学術交流会

開催日	2022年11月20日(日)
場所	上海市、江蘇省(南京市)、浙江省(杭州市)、江西省(南昌市)
実施責任者	孫偉 江蘇省中医院腎内科教授(第18期生) 殷猛 上海交通大学医学院附属上海兒童医学センター心胸外科教授(第27期生) 何非方 浙江大学附属邵逸夫医院疼痛科主任(第29期生) 鄭衛青 江西省南昌市疾病予防コントロールセンター (第38期、40期生<学位取得コース>)
参加者	103名 本部及び上海市、江蘇省、浙江省の笹川同学会会員 他
テーマ	臨床医の研究アイデア
プログラム	1)劉必成 東南大学医学院院長、東南大学腎臓病研究所所長、教授 「研究課題の選定と申請書類の作成方法」 2)張程辰 上海兒童医学センター臨床ビックデータ研究センター主任 「医学研究におけるリアルワールドデータ(RWD)の応用」 3)蘇海 南昌大学第二附属医院心血管病研究所副所長、教授(第1期生) 「臨床研究のテーマをいかに選ぶか」 4)嚴森祥 浙江大学医学院附属第一医院放射線療法科主任、教授(第25期生) 「臨床問題に基づいた研究設計」 5)殷猛 上海交通大学医学院附属上海兒童医学センター心胸外科教授 (第27期生) 「実践から—臨床医の研究アイデア」
	
上海会場	



江西省南昌市会場様子と集合写真



江蘇省泰州市会場様子と集合写真



上海市会場集合写真

報告：華東地区支部学術交流会が、上海市、江蘇省泰州市、浙江省杭州市、江西省南昌市の4会場と同支部の同学会会員をオンラインで結んだハイブリッド形式で開催された。学術交流会には、趙群同学会理事長、李忠金秘書長と、上海市・江蘇省・浙江省・江西省在住の同学会会員計103名が参加し、日本からも日中医学協会の事務局がオンラインで参加して、親睦を深めた。学術交流会は、「臨床医の研究アイデア」をテーマに開催され、特別講演として、劉必成東南大学医学院院長に研究課題の選定と申請書類の作成について、張程辰上海児童医学センター臨床ビックデータ研究センター主任に日本でも注目されているリアルワールドデータ(RWD)の応用について、ご講演頂いた。両講演ともとても為になる内容で、参加者皆、真剣な面持ちで、熱心に聞いていた。続いて、同学会を代表して3名の笹川生OBが、研究課題の選定・設定方法、新規性のあるアイデアの着想方法と観点、研究デザインなどについて自身の経験をもとに講演し、闊達な議論が行われた。

笹川医学奖学金同学会办公室

地址：北京市海淀区西直门北大街顺源里101号
西峰公寓C座0248
联系电话：010-62256266 15901208067
邮箱：sc1000@vip.163.com
网址：https://www.sskw.net

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

2022年笹川医学奖学金华东地区分会 临床医生的科研思路

主办单位：笹川医学奖学金同学会、日中医学协会
支持单位：国家卫生健康委、日本财团
承办单位：笹川医学奖学金华东地区分会

会议时间：2022年11月20日（周日）

会议安排：

11月20日 8:45 签到
11月20日 9:00-12:00 学术研讨会
11月20日 12:00 午餐

主题：临床医生的科研思路

上海主会场
(上海) 主持人 殷猛 教授
上海交通大学医学院附属上海儿童医学中心 心胸外科
(笹川27期生 笹川医学奖学金同学会常务理事)

江苏分会场
(苏州) 负责人 孙伟 教授
江苏省中医院 病理科
(笹川18期生 笹川医学奖学金同学会常务理事)

浙江分会场
(杭州) 负责人 何非凡 教授
浙江大学附属邵逸夫医院 疼痛科 & 颅内低压诊治中心
(笹川29期生 笹川医学奖学金同学会常务理事)

江西分会场
(南昌) 负责人 郑卫青 助理研究员
江西省南昌市疾病预防控制中心
(笹川40期生 笹川医学奖学金同学会理事)

会议议程

8:45-9:00 签到
9:00-9:05 致辞 赵群教授 (笹川10期生) 笹川医学奖学金同学会 理事长
9:05-9:10 致辞 冈田光子 女士 日中医学协会 事务局长
9:10-9:15 致辞 孙伟 教授 (笹川18期生) 笹川同学会华东地区分会 会长

9:15-9:45



题目：关于科研选题与课题标书撰写的几点体会
刘必成 教授
东南大学医学院院长东南大学肾脏病研究所所长，
东南大学首批首席教授（二级），国家重点研发计划
首席科学家，主任医师，博士生导师



9:45-10:15



题目：真实世界数据在医学研究中的应用
张程辰 博士
上海儿童医学中心临床大数据研究中心 主任



10:15-10:45



题目：如何选择临床课题
苏海 教授 (笹川1期生)
南昌大学第二附属医院心血管病研究所 副所长



10:45-11:15



题目：基于临床问题导向的科研设计
严森祥 教授 (笹川25期生)
浙江大学医学院附属第一医院放疗科 主任



11:15-11:45



题目：从实践中来——浅谈临床医生的科研思路
殷猛 教授 (笹川27期生)
上海儿童医学中心心胸外科 主任医师



11:45-11:50

闭会总结 殷猛 教授 (笹川27期生) 笹川医学奖学金同学会常务理事

11:50-12:00

自由交流 (合影)

12:00-13:30

午餐

4 支部学術会議

4.2 東北地区支部学術交流会

開催日	2023年2月11日(日)
場所	吉林省(長春市)、遼寧省(瀋陽市)、黒龍江省(ハルビン市)
実施責任者	趙樹華 吉林大学中日聯誼医院中医科教授(第4期生) 許 順 中国医科大学第一臨床学院教授 (第15期生・第41期生<共同研究コース>) 李顕筑 黒龍江省中医薬科学院教授(第8期生)
参加者	110名 吉林省、遼寧省、黒龍江省の笹川同学会会員
テーマ	コロナ禍における医療スタッフの責務
プログラム	1) 李顕筑 黒龍江省中医薬科学院教授(第8期生) 「『COVID-19 感染症の回復期における中西医結合リハビリテーションプログラムに関するコンセンサス』の紹介」 2) 呉龍仁 延辺大学附属医院副院長、感染科主任(第20期生) 「感染症の危険性について」 3) 顧 鋭 中日聯誼医院副院長(第28期生) 「燠火はやがて松明となる, COVID-19 との闘いの道一方艱医院(臨時医療施設)支援と各診療科統合治療エリアの建立」 4) 李肖肖 中国医科大学附属第一臨床学院胸外科和平院区看護師長 「COVID-19 アウトブレイク時の対応ー看護チームの敏速な立ち上げとマネジメント」 会員情報交流



遼寧省瀋陽会場と集合写真



吉林省長春市会場と集合写真



黒龍江省ハルビン市会場

報告：東北地区支部学術交流会が、吉林省長春市、遼寧省瀋陽市、黒龍江省ハルビン市の 3 会場と同支部会員をオンラインで結んだハイブリッド形式で開催された。学術交流会には、笹川同学会趙群理事長、李忠金秘書長、許順副理事長と、吉林省・遼寧省・黒龍江省在住の同学会会員計 110 名が参加した。会の冒頭、在中国日本国大使館 福田夏樹一等書記官よりご挨拶いただいた。日中医学協会の事務局もオンラインで参加し、交流を深めることができた。学術交流会は「コロナ禍における医療スタッフの責務」をテーマに開催された。3 名の笹川生 OB が、中西医结合による治療法、感染症の危険性、新型コロナ感染症流行時における各地への支援経験談などについて講演し、最後に中国医科大学附属第一臨床学院看護師長の李肖肖氏が、看護師の視点から COVID-19 アウトブレイク時の対応について講演した。

笹川医学奖学金同学会办公室

地址：北京市海淀区西直门北大街联建路 101 号
西禧公寓 C 座 0248
联系电话：010-62256266 15901208067
邮箱：sc1000@vip.163.com
网址：https://www.sskw.net

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

2022 年度笹川医学奖学金同学会东北地区分会 新冠疫情下医务人员的职责

主办单位：笹川医学奖学金同学会、日中医学协会
支持单位：国家卫生健康委员会、日本财团
承办单位：笹川医学奖学金东北地区分会
2023 年 2 月 11 日

会议时间：2023 年 2 月 11 日（周六）

会议安排：

2 月 11 日 13:45 报到
2 月 11 日 14:00—17:00 学术研讨会
2 月 11 日 17:00 晚宴

主题：新冠疫情下医务人员的职责

长春主会场 主持人 赵树华 教授
吉林大学中日联谊医院中医科
(笹川 4 期生 笹川医学奖学金同学会 常务理事)

沈阳分会场 负责人 许顺 教授
中国医科大学第一临床学院
(笹川 15 期生 笹川医学奖学金同学会 副理事长)

哈尔滨分会场 负责人 李显筑 教授
黑龙江省中医药科学院
(笹川 8 期生 笹川医学奖学金同学会 常务理事)

会议议程

13:45-14:00 签到
14:00-14:05 致辞 赵树 教授 (笹川 10 期生) 笹川医学奖学金同学会 理事长
14:05-14:10 致辞 池田龙也 先生 日中医学协会 事务局次长
14:10-14:15 致辞 福田夏树 先生 日本国驻华使馆一等秘书官
14:15-14:20 致辞 许顺 教授 (笹川 15 期生) 笹川医学奖学金同学会 副理事长
14:20-14:25 致辞 李显筑 教授 (笹川 8 期生) 笹川医学奖学金同学会 常务理事

14:25-15:00 题目：《新型冠状病毒感染者恢复期中西医结合康
复方案专家共识》介绍
李显筑 教授 (笹川 8 期)
黑龙江省中医药科学院 二级教授



15:00-15:35 题目：传染病危害性
吴龙仁 教授 (笹川 20 期)
延边大学附属医院副院长 感染科主任



15:35-16:10 题目：微光成炬，“疫”路同行——方舱支援和综
合疗区组建
顾锐 教授 (笹川 28 期)
中日联谊医院 副院长 / 中国医师协会骨科医师分
会脊柱学组委员



16:10-16:45 题目：疫情突发下 - 护理团队快速组建管理经验分享
李肖肖 女士 主管护师
中国医科大学附属第一临床学院 中国医科大学附
属第一临床学院胸外科和平院区 护士长



16:45-16:50 笹川第 6 期项目介绍
李忠金 先生 (笹川 12 期)
笹川医学奖学金同学会 秘书长



16:50-17:00 自由交流 (合影)
17:00-19:30 晚宴

4 支部学術会議

4.3 天津・華北・華中地区支部学術交流会

開催日	2023年2月19日(日)
場所	天津市、山東省(済南市)
実施責任者	孟召偉 天津医科大学総医院核医学科教授 (第30期生・第40期生<共同研究コース>) 曹学成 済南軍区総医院骨創傷外科教授(第18期生)
参加者	104名 本部及び天津、山東省の笹川同学会会員 他
テーマ	高齢化対策
プログラム	1) 福田夏樹 在中国日本国大使館一等書記官 「日本の少子高齢化対策」 2) 周桂桐 天津市中西医结合医院教授(第3期生) 「中薬を用いた高齢者の脾臓・胃疾患の予防・治療・再発予防」 3) 田素齋 河北医科大学第二医院主任看護師(第22期生) 「認知症高齢者の介護と見送り」 会員情報交流



天津会場様子



山東省済南会場様子と集合写真

報告:天津・華北・華中地区支部学術交流会が、天津市、山東省済南市の2会場と同支部会員をオンラインで結んだハイブリッド形式で開催された。学術交流会には、笹川同学会李忠金秘書長と、天津市・山東省在住の同学会会員 計104名が参加し、日本から日中医学協会の事務局がオンラインで参加し、親睦を深めた。初めに、在中国日本国大使館 福田夏樹一等書記官が日本の最新の少子高齢化対策について紹介し、参加者より多くの関心が寄せられた。次に、2名の笹川生OBが、中薬による高齢者の消化器疾患の予防治療と認知症高齢者の介護と最期に向けての準備について、それぞれ講演を行った。

笹川医学奖学金同学会办公室
 地址：北京市海淀区西直门北大街联想路101号
 西禧公寓C座0248
 联系电话：010-62256266 15901208067
 邮箱：sc1000@vip.163.com
 网址：https://www.sskw.net



2022年度笹川医学奖学金同学会天津、华北、华中地区分会 老龄化对策研讨会

主办单位：笹川医学奖学金同学会、日中医学协会
 支持单位：国家卫生健康委员会、日本财团
 承办单位：笹川医学奖学金天津地区分会
 2023年2月19日

会议时间：2023年2月19日（周日）

会议地点：天津东凯悦酒店

会议安排：
 2月19日 8:45 签到
 2月19日 9:00—12:00 学术研讨会
 2月19日 12:00 午餐

主题：老龄化对策


主会场 主持人 孟召伟 教授
 天津医科大学总医院 核医学科
 （笹川30期生）笹川医学奖学金同学会常务理事

山东分会场 负责人 曹学成 教授
 济南军区总医院骨创伤外科
 （笹川18期生）笹川医学奖学金同学会常务理事


会议议程

8:45-9:00 签到
 9:00-9:05 致辞 孟召伟 教授（笹川30期）笹川医学奖学金同学会常务理事
 9:05-9:10 致辞 池田龙也 先生 日中医学协会 事务局次长
 9:10-9:15 致辞 曹学成 教授（笹川18期）笹川医学奖学金同学会常务理事


9:15-10:15 题目：日本老龄化对策
 福田夏树 先生
 日本国驻华使馆一等秘书官




10:15-10:55 题目：老年人脾胃病的中医药三级防治
 周桂刚 教授（笹川3期）
 天津市中西医结合医院



10:55-11:35 题目：认知症老年人的照护及告别遗愿
 田蜜斋 主任护师（笹川22期）
 河北医科大学第二医院



11:35-11:55 题目：笹川第六期项目介绍
 李忠金 先生（笹川12期）
 笹川医学奖学金同学会 秘书长



11:55-12:00 自由交流（合影）
 12:00-14:00 午餐

4 支部学術会議

4.4 西北地区支部学術交流会

開催日	2023年2月25日(土)
場所	陝西省(西安市)、山西省(太原市)、新疆ウイグル自治区(ウルムチ市)
実施責任者	李国棟 西安交通大学外国語学院副教授(第16期生) 李燕萍 山西省衛生庁国際交流センター教授(第22期生) 李南方 新疆ウイグル自治区人民医院高血压センター長、 新疆高血压研究所所長(第7期生・第40期生<共同研究コース>)
参加者	98名 陝西省、新疆ウイグル自治区、山西省の笹川同学会会員 他
テーマ	医学教育の現状と課題
プログラム	1) 李卓 西安医学院第一附属医院検査科主任(第39期生) 「臨床検査医学専攻学部生への教育経験と思考」 2) 李莉 山西医科大学第一医院看護部副主任、准教授 (第44期笹川生<共同研究コース>) 「新時代における看護学専攻大学院生教育の現状と思考」 3) 任映麗 新疆自治区人民医院高血压センター看護師長 「天山山脈の南北両側地域で活躍する高血压予防治療チーム」 4) 張令 西安交通大学医学部大学院生 「医学生の成長の道」会員情報交流
	
陝西省西安市会場	



新疆ウイグル自治区烏魯木齊市会場



山西省太原市会場

報告：西北地区支部学術交流会が、陝西省西安市、山西省太原市、新疆ウイグル自治区烏魯木齊市の 3 会場と同支部会員をオンラインで結んだハイブリッド形式で開催された。学術交流会には、笹川同学会趙群理事長、李忠金秘書長と、陝西省・山西省・新疆ウイグル自治区在住の同学会会員（笹川生 OB）計 98 名が参加し、日本からも日中医学協会の事務局がオンラインで参加して交流を深めた。学術交流会は「医学教育の現状と課題」をテーマに行われ、4 名が講演した。まず、臨床検査と看護に携わる同学会会員が、医学生教育の現状と課題について自身の経験をもとに講演を行った。続いて特別講演として、新疆ウイグル自治区人民医院高血圧センターの任映麗看護師長に、高血圧予防治療チームの天山山脈南北両側地域での 25 年にわたる活動についてご講演頂き、また、日中医学協会が 2021 年度に実施した JST「さくらサイエンスオンラインプログラム」に笹川同学会の推薦により参加した西安交通大学医学部修士課程の張令さんに、当該プログラムが自身の医学生としての成長に与えた影響について紹介してもらった。

笹川医学奖学金同学会办公室

地址：北京市海淀区西直门北大街联想楼101号
西峰公寓C座0248
联系电话：010-62256266 15901208067
邮箱：sc1000@vip.163.com
网址：https://www.sskw.net



2022年度笹川医学奖学金西北地区分会 医学教育的现状与课题



主办单位：笹川医学奖学金同学会、日中医学协会
支持单位：国家卫生健康委员会、日本财团
承办单位：笹川医学奖学金西北地区分会
2023年2月25日

会议时间：2023年2月25日（周六）

会议地点：西安宾馆

会议安排：2月25日 14:00 签到
2月25日 14:00—17:45 学术研讨会
2月25日 17:45 晚宴

主题：医学教育的现状与课题


主会场 主持人 李国栋 副教授
西安交通大学外国语学院
(笹川16期生) 笹川医学奖学金同学会常务理事


山西分会场 负责人 李燕萍 教授
山西省卫生厅国际交流中心
(笹川22期生) 笹川医学奖学金同学会常务理事


新疆分会场 负责人 李南方 教授
新疆维吾尔自治区人民医院高血压中心、
新疆高血压研究所
(笹川7期生) 笹川医学奖学金同学会常务理事


会议议程


14:00-14:30 签到
14:30-14:35 致辞 赵群 教授 (笹川10期生) 笹川医学奖学金同学会 理事长
14:35-14:40 致辞 池田龙也 先生 日中医学协会 事务局次长
14:40-14:45 致辞 李燕萍 教授 (笹川22期生) 笹川医学奖学金同学会常务理事
14:45-14:50 致辞 李南方 教授 (笹川7期生) 笹川医学奖学金同学会常务理事

14:50-15:30 题目：医学检验专业本科生教育的体会与思考
李卓 教授 (笹川39期生)
西安医学院第一附属医院检验科主任、实验诊断学
教研室主任 

15:30-16:10 题目：新时代护理专业学位研究生教育的现状与思考
李莉 副教授 (笹川44期生)
山西医科大学第一医院 护理部副主任 

16:10-16:50 题目：天山南北话援疆一支高血压防控团队
任映丽 护士长
国家卫生健康委高血压诊疗研究重点实验室、
新疆维吾尔自治区人民医院高血压中心护士长 

16:50-17:30 题目：医学生的成长之路
——兼谈“规培”期间的收获
张令 西安交通大学医学部硕士生
2022中日“樱花科技”项目学员、专业方
向：耳鼻咽喉科学 


17:30-17:35 题目：笹川第六期项目介绍
李忠金 先生 (笹川12期)
笹川医学奖学金同学会 秘书长 

17:35-17:45 自由交流 (合影)

17:45 晚宴

4 支部学術会議

4.5 華南地区支部学術交流会

開催日	2023年3月11日(土)
場所	広東省(広州市、深圳市)、湖南省(長沙市)、海南省(海口市)
実施責任者	王甲東 中山大学教授(第1期生) 李宝光 深圳市第七人民医院泌尿器外科主任(第13期生) 李永国 湖南旺旺医院院長(第1期生) 吳 忠 海南省人民医院心内科教授(第22期生)
参加者	112名 本部及び広東省、湖南省、海南省の笹川同学会会員
テーマ	新型コロナウイルス感染症の産業に対する影響(医療と介護の連携に対する啓発)
プログラム	<p>1) 福田夏樹 在中国日本国大使館一等書記官 「日本の新型コロナウイルス対応を踏まえた中長期的課題と対応」</p> <p>2) 丘勇超 広州中医薬大学第一附属医院泌尿外科教授(第5期生) 「男性生殖と性能力に対する新型コロナウイルスの影響及び対策」</p> <p>3) 王 鳴 広州市疾病予防コントロールセンター元主任、感染症学主任医師 (第13期生) 「異なる研究開発ルートの新型コロナワクチンの免疫メカニズム解明」</p> <p>4) 呉平生 南方医科大学南方医院心血管内科教授(第13期生) 「心血管疾病に対する新型コロナウイルスの影響」</p> <p>5) 吳 忠 海南省人民医院心内科教授(第22期生) 「新型コロナ感染症からの啓発——医療+養老」</p> <p>6) 威元麗 広東省人民医院精神科 広東省精神衛生センター (第28期生) 「新型コロナウイルス感染症拡大の中でセルフコンディショニングの方法」</p> <p>会員情報交流</p>
	
会場様子	



集合写真

報告：華南地区支部学術交流会が、広東省広州市、深圳市、湖南省長沙市、海南省海口市の3会場と同支部会員をオンラインで結んだハイブリッド形式で開催された。学術交流会には、笹川同学会趙群理事長、李忠金秘書長と、広東省・湖南省・海南省在住の同学会会員（笹川生OB）計112名が参加し、日本からも日中医学協会の事務局がオンラインで参加して交流を深めた。学術交流会は「新型コロナウイルス感染症の影響」をテーマに行われ、6名が講演した。まず、福田夏樹在中国日本国大使館一等書記官が「日本の新型コロナウイルス感染症への対応」と題する講演を行い、続いて同学会会員5名がそれぞれの専門的立場から、男性生殖と性能力に対する影響、免疫メカニズム解明、心血管疾患に対する影響、高齢者医療への影響、感染症拡大における心のケアについて講演を行った。

笹川医学奖学金同学会办公室

地址：北京市海淀区西直门北大街顺康里101号
西廊公寓C座024B
联系电话：010-62256266 15901208067
邮箱：sc1000@vip.163.com
网址：https://www.sskw.net



2022年度笹川医学奖学金同学会华南地区分会 新冠疫情给产业带来的影响 (对医养结合的启示)

主办单位：笹川医学奖学金同学会、日中医学协会
支持单位：国家卫生健康委员会、日本财团
承办单位：笹川医学奖学金同学会华南地区分会
2023年3月11日

会议时间：2023年3月11日（周六）

会议地点：广州华厦大酒店

会议安排：3月11日 13:30 签到
3月11日 14:00—17:40 学术研讨会
3月11日 17:40 晚宴

主题：新冠疫情给产业带来的影响（对医养结合的启示）

主会场	主持人 王甲东 教授 (笹川1期生) 中山大学
深圳分会场	负责人 李宝兴 教授 (笹川13期生) 深圳市第七人民医院 泌尿外科
湖南分会场	负责人 李永国 教授 (笹川1期生) 笹川医学奖学金同学会 常务理事
海南分会场	负责人 吴忠 教授 (笹川22期生) 海南省人民医院 心内科

会议议程

13:30-14:00	签到
14:00-14:10	致辞 赵群 教授 (笹川10期生) 笹川医学奖学金同学会 理事长
14:10-14:15	致辞 池田龙也 先生 日中医学协会 事务局次长
14:20-14:25	致辞 李永国 教授 (笹川1期生) 笹川医学奖学金同学会 常务理事
14:25-14:30	致辞 李宝兴 教授 (笹川13期生) 深圳市第七人民医院 泌尿外科

14:30-15:20	题目：日本的新冠疫情 福田夏树 先生 日本国驻华使馆一等秘书官	
15:20-15:45	题目：新冠病毒对男性生殖和性功能的影响和对策 丘勇超 教授 (笹川5期生) 广州中医药大学第一附属医院 泌尿外科 / 男科	
15:45-16:10	题目：不同研发线路新冠疫苗的免疫机理简析 王琦 教授 (笹川13期生) 广州市疾病预防控制中心原主任、流行病学主任医师	
16:10-16:35	题目：新冠病毒感染后对心血管病的影响 吴平生 教授 (笹川13期生) 南方医科大学南方医院 心血管内科	
16:35-17:00	题目：疫情带来的启示——医疗+养老 吴忠 教授 (笹川22期生) 海南省人民医院 心内科	
17:00-17:25	题目：疫情背景下如何做好自我心理调试 藏元丽 教授 (笹川28期生) 广东省人民医院心理科、广东省精神卫生中心	
17:25-17:30	题目：笹川第六期项目介绍 李忠金 (笹川12期生) 笹川医学奖学金同学会 秘书长	
17:30-17:40	自由交流 (合影)	
17:40-19:00	晚宴	

4 支部学術会議

4.6 西南地区学術交流会

開催日	2023年3月18日(土)
場所	雲南省(昆明市)、四川省(成都市)
実施責任者	李 松 昆明医科大学学長(第8期生) 冉玉平 四川大学華西医院皮膚性病科教授(第4期生)
参加者	75名 本部及び四川省、雲南省、貴州省、重慶市の笹川同学会会員
テーマ	スマートヘルスの現状と課題
プログラム	1) 冉玉平 四川大学華西医院皮膚性病科教授(第4期生) 「脱毛症の治療」 2) 李 松 昆明医科大学学長(第8期生) 「スマートヘルスの発展と健康」 3) 李明哲 成都軍区総医院附属口腔医院教授(第28期生) 「複雑な状態における口腔インプラント修復」 4) 熊 宇 陸軍軍医大学西南医院口腔科教授(第34期生) 「歯科分野におけるテラヘルツ波技術の応用」 会員情報交流



雲南省昆明市会場様子と集合写真



四川省成都市会场様子と集合写真

報告：西南地区支部学術交流会が、雲南省昆明市、四川省成都市の 2 会場と同支部会員をオンラインで結んだハイブリッド形式で開催された。学術交流会には、笹川同学会趙群理事長、李忠金秘書長と、四川省、雲南省、貴州省、重慶市在住の同学会会員(笹川生 OB)計 75 名が参加し、日本からも日中医学協会の事務局がオンラインで参加して交流を深めた。学術交流会は「スマートヘルスの現状と課題」をテーマに行われ、4 名が講演した。李 松 昆明医科大学学長(第 8 期生)から講演「スマートヘルスの発展と健康」が行われ、予防医療におけるスマートケアヘルスの活用等について発表があった。冉玉平 四川大学華西医院皮膚性病科教授(第 4 期生)は脱毛症について、李明哲教授、熊宇教授からは歯科分野における口腔インプラント修復、テラヘルツ波技術の応用について発表があった。

笹川医学奖学金同学会办公室
 地址：北京市海淀区西直门北大街联建路 101 号
 西楼公寓 C 座 0248
 联系电话：010-62256266 15901208067
 邮 箱：sc1000@ip163.com
 网 址：http://www.sskw.net



2022 年度笹川医学奖学金同学会西南地区分会 智慧医疗与健康

主办单位：笹川医学奖学金同学会、日中医学协会
 支持单位：国家卫生健康委员会、日本财团
 承办单位：笹川医学奖学金同学会西南地区分会
 2023 年 3 月 18 日

会议时间：2023 年 3 月 18 日（周六）
 会议地点：昆明翠湖宾馆
 会议安排：
 3 月 18 日 13:30 签到
 3 月 18 日 14:00—17:50 学术研讨会
 3 月 18 日 18:00 晚宴

主题：智慧医疗与健康

主会场 主持人 李松（笹川 8 期生）
 笹川医学奖学金同学会 常务理事

成都分会场 负责人 冉玉平 教授（笹川 4 期生）
 四川大学华西医院皮肤科

会议议程

13:30-14:00 签到
 14:00-14:10 致辞 赵群 教授（笹川 10 期生）笹川医学奖学金同学会 理事长
 14:10-14:20 致辞 池田龙也 先生 日中医学协会 事务局次长

- 14:20-15:10 题目：脱发的诊疗
 冉玉平 教授（笹川 4 期生）
 四川大学华西医院皮肤科病科 
- 15:10-16:00 题目：智慧医疗发展与健康
 李松 教授（笹川 8 期生）
 昆明医科大学 
- 16:00-16:50 题目：复杂条件的口腔种植修复
 李明哲 教授（笹川 28 期生）
 成都军区总医院附属口腔医院 
- 16:50-17:30 题目：太赫兹技术在牙科领域的应用
 熊宇 教授（笹川 34 期生）
 陆军军医大学西南医院口腔科 
- 17:30-17:40 题目：笹川第六期项目介绍
 李忠金 先生（笹川 12 期）
 笹川医学奖学金同学会 秘书长 
- 17:40-17:50 自由交流（合影）
- 18:00-19:30 晚宴

4 支部学術会議

4.7 日本支部学術交流会

開催日	2023年3月19日(日)
会場	TKP 東京駅カンファレンスセンター
実施責任者	趙松吉 福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター 先端臨床研究センター教授(第19期生)
参加者	36名 安達勇日中医学協会副会長/理事、日本在住の笹川同学会会員 他
テーマ	在日笹川生たちの基礎・臨床研究への探求心
プログラム	<p>1)孫長博 東京大学附属病院呼吸器外科学 Clinical fellow(第38期・第40期生) 「肺癌ワクチンにおける個別化免疫治療研究とCT画像によるサルコペニア評価の新たな展開」</p> <p>2)金徳男 大阪医科薬科大学講師(第14期生) 「肥満細胞由来のキマーゼと心不全」</p> <p>3)李天成 国立感染症研究所ウイルス第二部主任研究官(第11期生) 「笹川研修生とのE型肝炎ウイルスに関する研究」</p> <p>4)趙松吉 福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター 先端臨床研究センター教授(第19期生) 「日本のアスタチン-211を用いた標的α線治療開発の現状と福島県立医科大学の取組」</p> <p>会員情報交流</p>



会場様子



講演様子



集合写真

報告:3名の笹川生OBがそれぞれ、PD-1抗体とワクチン治療の最適化、抗キマーゼ作用の心不全への適用、E型肝炎ウイルスに対する予防・治療における最新の研究成果について講演し、活発な質疑応答が行われた。趙松吉日本支部会長が会長就任5周年記念講演として、標的 α 線を用いた悪性褐色細胞腫への治療開発、抗体薬との複合による急性白血病への治療開発に関する講演を行い、悪性褐色細胞腫で非臨床試験を経てファースト・イン・ヒューマンの第I相治験が既に開始されていること等について紹介した。

笹川医学奨学金進修生同学会
日本支部2022年度総会・学術セミナー



会期：2023年3月19日（日）13：30～20：00
会場：TKP東京駅カンファレンスセンター（現地開催＋Web配信あり）
主催：笹川同学会日本支部
共催：笹川同学会本部・日中医学協会
助成：日本財団
司会：李 亜範 笹川同学会日本支部副会長（常務）（第13期）

第1部 総会 13：30～14：10

開会挨拶：趙 松吉 笹川同学会日本支部会長（第19期）
日本支部事業報告・事業案について：笹川同学会日本支部/日中医学協会

祝辞：安達 勇 日中医学協会副会長
李 忠金 笹川同学会秘書長（第12期）

第2部 学術セミナー 14：10～15：45

主題：～ 在日笹川生たちの基礎・臨床研究への探求心～

座長：呉 秀賢 笹川同学会日本支部医師部門・健康講座担当（第19期）
兵庫医科大学・泌尿器科・講師
呂 玉泉 笹川同学会日本支部サイエンス部門担当（第15期）
大阪大学大学院医学系研究科・社会医学講座・助教

講演1 肺癌ワクチンにおける個別化免疫治療研究とCT画像による
サルコペニア評価の新たな展開

演者：孫 長博 東京大学附属病院 呼吸器外科学 Clinical fellow
腫瘍免疫学 客員研究員
日中笹川医学奨学金制度第38期・第40期（学位取得コース）

講演2 肥満細胞由来のキマーゼと心不全

演者：金 徳男 大阪医科大学・講師
笹川同学会日本支部サイエンス部門担当（第14期）

講演3 笹川研修生とのE型肝炎ウイルスに関する研究

演者：李 天成 国立感染症研究所ウイルス第二部・主任研究官（第11期）

休憩 15：45～16：00

第3部 基調講演（会長就任5周年記念講演）16：00～16：50

座長：安達 勇 日中医学協会副会長/静岡県立静岡がんセンター・参与
講演名：日本のアスタチン-211を用いた標的 α 線治療開発の現状と
福島県立医科大学の取組
講師：趙 松吉 福島県立医科大学・教授/笹川同学会日本支部会長（第19期）

閉会挨拶 16：50～17：00

日中医学協会/笹川同学会日本支部
集合写真

第4部 情報交換会 18：00～20：00

5 日中ハイエンド医学フォーラム

5 日中ハイエンド医学フォーラム

5.1「大健康」フォーラム

開催日	2022年8月20日(土)
場所	長富宮飯店(北京市);日本会場/日中医学協会事務局(東京都)
実施責任者	韓晶岩 北京大学基礎医学院中西医结合教室 教授(第9期生) 張 亨 北京頤康医療科技有限公司総経理(第10期生) 馬迎華 北京大学児童青少年衛生研究所副所長 (第23期生・第41期生<共同研究コース>)
参加者	30名(その他視聴者100名) 笹川同学会会員等
テーマ	大健康
日本専門家	講演者 安井正人 慶應義塾大学医学部薬理学教授 細井孝之 医療法人財団健康院理事長、健康院クリニック院長 友川 幸 信州大学学術研究院(教育学系) スポーツ科学教育グループ(学校保健)准教授
プログラム	1)安井正人 慶應義塾大学医学部薬理学教授 「水と健康—アルツハイマーとの関連について」 2)韓 晶岩 北京大学基礎医学院中西医结合教室教授(第9期生) 「微小血管の滲出に対する中医学の理論とメカニズム」 3)細井孝之 医療法人財団健康院理事長、健康院クリニック院長 「日本における健診について」 4)張 亨 北京頤康医療科技有限公司総経理(第10期生) 「インターネットによる慢性疾患管理プラットフォームについて」 5)友川 幸 信州大学学術研究院(教育学系) スポーツ科学教育グループ(学校保健)准教授 「日本の学校保健の特徴と学校における感染症対策」 6)馬 迎華 北京大学児童青少年衛生研究所副所長 (第23期生・第41期生<共同研究コース>) 「COVID-19 感染対策をもとに、健康的な学校生活作りを推進」



会場様子



安井正人先生



韓 晶岩先生



細井孝之先生



張 亨先生



友川 幸先生



馬 迎華先生



集合写真

報告：今回は昨年に引続き「大健康」をテーマに、長富宮飯店（北京）において、ハイブリッド会議形式で開催され、会場には北京在住の笹川同学会会員を中心に 30 名、オンラインでは約 100 名が参加した。

フォーラムでは、開催に先立ち、福田 夏樹 在中国日本国大使館一等書記官からご祝辞を頂き、日本側専門家 3 名、中国側専門家（笹川同学会会員）3 名より講演が行われた。

日本側からは、安井正人 慶應義塾大学医学部教授がアクアポリンの中枢神経系での働きとアルツハイマーとの関係について解説し、細井孝之 健康院クリニック院長が高齢化社会における健康寿命を延ばすための取組を紹介し、友川 幸 信州大学友川 幸 信州大学准教授が日本の学校保健の特徴、学校における感染症対策等について紹介した。中国側からは、韓 晶岩 北京大学基礎医学院教授が微小血管透過性亢進メカニズムを中医学の観点から説明し、張 亨 北京頤康医療科技有限公司総経理が“遠隔診療”、“AI”を用いた慢性疾患死亡率の低下に向けた取組を紹介し、馬 迎華 北京大学児童青少年衛生研究所副所長が学校生活における健康推進能力開発の仕組作りの事例について、感染症分野を中心に発表した。

今回のフォーラムで取上げられたアルツハイマー、健康寿命、健康促進の場としての学校保健といったテーマが、今後の健康政策に反映され、誰もが望む国民の健康につながっていくことが期待される。

笹川医学奖学金同学会办公室

地址：北京市海淀区西直门大街东联楼101号
西联公寓C座0248
联系电话：010-62256266 15901208067
邮箱：sc1000@nip163.com
网址：https://www.sskw.net



2022年中日笹川医学奖学金同学会 “大健康论坛”

主办单位：笹川医学奖学金同学会、日中医学协会
支持单位：中国国家卫生健康委员会、日本财团
2022年8月20日

会议时间：2022年8月20日（周六）
会议地点：长富宫饭店 二层 聚真南+水厅厅
主办方：笹川医学奖学金同学会、日中医学协会
后援方：中国国家卫生健康委员会、日本财团
会议主题：大健康论坛
主持人：韩晶岩 北京大学基础医学院中西医结合教研室 教授（第9期生）

会议议程

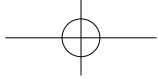
12:30-13:00	签到
13:00-13:05	致词 赵 群 笹川医学奖学金同学会理事长（第10期生）
13:05-13:10	致词 冈田光子 日中医学协会事务局长
13:10-13:15	致词 福田真树 日本国驻华大使馆一等书记官
13:15-13:55	<p>题目：水与健康（与阿尔茨海默症的关系） 安井正人 庆应义塾大学医学部药理学教授 教授</p> 
13:55-14:35	<p>中医药防治微血管渗出的理论和机理 韩晶岩 北京大学基础医学院中西医结合教研室 教授（第9期生）</p> 

14:35-15:15	<p>日本的健康体检 细井孝之 医疗法人财团健康院 理事长 健康院诊所 院长</p> 
15:15-15:55	<p>关于互联网慢病管理平台 张 宇 北京顺康医疗科技有限公司 董事长 （第10期生）</p> 
15:55-16:10	休息
16:10-16:50	<p>日本学校保健的特点与学校的传染病对策 友川章 信州大学学术研究院（教育学系） 体育科学教育小组（学校保健）副教授</p> 
16:50-17:30	<p>以新冠疫情防控为契机，推动健康学校建设 马逸华 北京大学儿童青少年卫生研究所 副所长 （第23期生/41期共同研究员）</p> 
17:30-17:50	自由讨论
17:50-18:00	集体照
18:00-20:00	晚宴

6 広報活動

6 広報活動

6.1 『笹川生通説』



目录

1 笹川同学会各地区分会 / 1

- 2022 年笹川同学会华东地区学术交流会 / 1
- 2022 年笹川同学会华北华中地区学术交流会 / 2
- 2022 年笹川同学会华南地区学术交流会 / 4
- 2022 年笹川同学会东北地区学术交流会 / 5
- 2022 年笹川同学会西南地区学术交流会 / 7
- 2022 年笹川同学会西北地区学术交流会 / 8

2 健康大论坛 / 10

- 2022 年大健康论坛 / 10

3 基层培训与地方支援 / 12

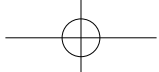
- 2022 年笹川同学会地域医疗支援活动（新疆塔城地区） / 12
- 2022 年笹川同学会地域医疗支援活动（四川雅安） / 13
- 2022 年笹川同学会地域医疗支援活动（四川雅安芦山县） / 15

4 中日笹川医学奖学金项目第 42 期·43 期·44 期（共同研究型） 研究员交流会顺利召开 / 16

5 JST 樱花科技在线项目 / 19

6 我与笹川 / 23

- 我与笹川·第 44 期 王昊 / 23
- 日本留学感触·第 40 期 张春东 / 24
- 远行多所怀 新秋绿芋肥——记笹川赴日之行·第 44 期 詹晔斐 / 25
- 我与笹川·第 42 期 孟华川 / 27
- 参加 2022 中日樱花科技项目活动有感·刘佩瑶 / 28
- 高血压中心进修心得体会·卢志怡 / 29



笹川同学会各地区分会

1

2022年笹川同学会华东地区学术交流会

11月20日，2022年度笹川医学奖学金同学会华东地区分会在江苏泰州召开。会议采取线上线下相结合方式进行，主会场设在上海，江苏、浙江、江西设立了分会场。笹川同学会前常务副会长胡小濛（一期生），笹川同学会赵群理事长，李忠金秘书长等线下参加了泰州会议；日中医学协会冈田光子事务局长，池田副局长等线上参会。



同学会赵群理事长、日中医学协会事务局池田副局长、同学会华东分会孙伟会长分别致辞。

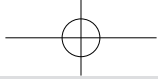
赵理事长讲到，笹川医学奖学金项目于1986年签约，1987年9月派出第一批学员，项目已实施35年，现已成为中日医学交流的一个重要平台。迄今为止，已在北京人民大会堂举办了项目实施5周年、10周年、20周年的纪念活动。在每次纪念活动上都有党和国家领导人、卫健委领导以及日本政要参加。35周年纪念活动原定于今年在人民大会堂举办，但因疫情而延期，我相信明年一定会如期举办。赵理事长还表示，中国拥有丰富的临床资源，我们要善于把临床资源转化成科研成果。这次会场所在地泰州是中国知名的医药城，

是一个相当不错的临床医学转化基地，我们可通过临床方案、临床技术、临床药物、临床器械等，为病人提供更好的医疗服务。未来10年，我们将与日中医学协会共同努力，推动两国医疗领域年轻人之间的相互交流。



会议主题是“临床医生的科研思路”。东南大学医学院院长、国家重点研发计划首席科学家博士生导师刘必成教授，上海儿童医学中心临床大数据研究中心主任张程辰博士分别就《关于科研选题与课题标书撰写的几点体会》《真实世界数据在医学研究中的应用》进行了主题演讲。

笹川1期生、南昌大学第二附属医院心血管病研究所副所长苏海教授以《如何选择临床课题》，笹川25期生、浙江大学医学院附属第一医院放疗科主任严森祥教授以《基于临床问题导向的科研设计》，笹川27期生、上海儿童医学中心心胸外科主任医师殷猛教授以《从实践中来——浅谈临床医生的科研思路》为题分别进行了演讲。



泰州会场



江西会场



上海会场

2022年笹川同学会华北华中地区学术交流会

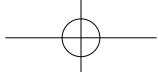
2023年2月19日，笹川同学会华北华中地区分会采用线下线上相结合方式召开。主会场设在天津，在山东和河北设置了分会场，线上线下共计104名同学参会。日中医学协会的工作人员也线上参会，加深了与笹川同学们的沟通交流。

本次学术交流会的主题是“老龄化对策”。

日本国驻华大使馆一等书记官福田夏树先生就日本的少子老龄化政策进行了演讲，引起与会人员的高度关注。2008年起日本总人口开始呈现减少趋势，人口结构发生变化，2025年现役劳动者将持续减少，老年人不断增加，2055年每4个人中就有1个75岁以上老人。日本患认知障碍的老年人在2012年时为462

万人，到2025年预计将达700万人。独居老人也呈现逐年增加趋势，需全社会参与、关注社会老龄化问题。政府制定了照护保险制度，在各社区成立了老年之家。





政府建立了地区综合照护体系，全方位提供居住、医疗、照护、预防、生活支援等服务，争取做到让需要照护的患者能在自己住习惯了的地方过自己想要的生活、直至生命的最后一刻。

天津市中西医结合医院周桂桐教授（3期学员）针对老年人脾胃病的中医药三级防治进行了演讲。周教授详细地讲解了何为“饮食有节，起居有常，不妄作劳，不过安逸”。

河北医科大学第二医院的田素斋主任护师（22期学员）针对患认知障碍老人的照护及告别追思进行了

系统介绍。过去我们常说老年痴呆，现在统称为认知障碍，目前我国有1200多万认知障碍老人，日常照护和训练是一大难题。田主任还介绍了如何在爱与陪伴中告别，让老人安详的度过临终阶段。演讲非常详细，让我们感触颇深。

此次会议主题是老龄化对策，会后与会者展开了积极讨论，大家认为中日老龄化对策是一个非常有益的课题，中日两国都会面临老龄化问题，大家就养老和老龄医疗等问题畅所欲言，非常希望今后就这个问题继续进行深入讨论。

◆讲者



福田夏树 日本国驻华大使馆一秘
「日本老龄化对策」



周桂桐 天津市中西医结合医院教授
(第3期生)「老年人脾胃病的中医药三级防治」



田素斋 河北医科大学第二医院主任护师
(第22期研究员)「认知症老年人的照护及告别追思」

◆华北华中地区分会学术交流会各省市实施负责人

天津市：孟召伟 天津医科大学总医院核医学科教授
(第30期、40期〈共同研究型〉生)

山东省：曹学成 济南军区总医院骨创伤外科教授(第18生)



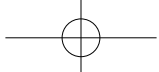
山东济南会场



天津会场合影



山东济南会场合影



2022年笹川同学会华南地区学术交流会

2023年3月11日，2022年笹川医学奖学金同学会华南地区学术交流会在广州召开。会议分别在深圳、海口、长沙设置了分会场。会议主题为“新冠疫情给产业带来的影响（对医养结合的启示）”。

主会场由王甲东教授（1期）主持，深圳分会场的负责人为李宝兴教授（13期），湖南分会场的负责人为李永国教授（1期），海南分会场的负责人为吴忠教授（12期）。

赵群理事长代表同学会、日中医学协会池田龙也副局长代表协会分别致辞。

1、日本国驻华使馆一秘福田夏树先生就日本的

新冠疫情进行了演讲，介绍了日本在疫情期间的各项政策及防控办法。

2、王鸣教授（笹川13期生）就“不同研发路径新冠疫苗的免疫机理简析”进行了演讲。

3、丘勇超教授（笹川5期生）针对“新冠病毒对男性生殖和性功能的影响和对策”进行了演讲。

4、吴平生教授（笹川13期生）针对“新冠病毒感染后对心血管疾病的影响”进行了演讲。

5、吴忠教授（笹川12期生）针对“医养结合的启示——医疗+养老”进行了演讲。

6、戚元丽教授（笹川28期生）针对“疫情背景下如何做好自我心理调试”进行了演讲。



广东会场



广东会场



广东会场



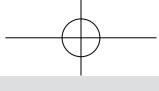
海南会场



湖南会场



深圳会场



2022年笹川同学会东北地区学术交流会



笹川同学会东北地区分会学术交流会于2023年2月11日(周六)召开,会议采取线上线下结合方式进行,主会场设在吉林省长春市,分别在哈尔滨和沈阳设置了分会场。

赵群理事长、许顺副理事长、李忠金秘书长以及吉林省、辽宁省、黑龙江省共计110名笹川同学以线下和线上方式参加了会议。

同学会赵群理事长、日中医学协会事务局池田龙也副局长分别致辞,日本驻中国大使馆一秘福田夏樹先生做了精彩演讲。日中医学协会办公室工作人员以在线形式参加会议,加深了彼此的交流。

学术交流会的主题是“新冠疫情下医务人员的职



责”。三位同学分别就“中西医结合疗法”“传染病的危害性”“新冠疫情期间支援各地的经验体会”进行了演讲。中国医大第一临床学院护士长李肖肖作为特邀讲者就“疫情突发情况下的护理团队的应对”一题进行了讲演。

◆讲者



李显筑 黑龙江省中医药科学院教授 (8期)

「《新型冠状病毒感染者恢复期中西医结合康复方案专家共识》介绍」

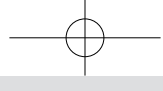
本次发布的《专家共识》有两大特点,一、中西医结合,以中医为主;二、关注人们的生活、起居、饮食、心理等多方面,给医护人员、健康管理师以及新冠恢复期人群提供健康指导。《专家共识》充分发挥中西医各自的优势,例如新冠恢复期部分患者肺部有炎症,炎症相对严重时提倡中西医结合治疗:可根据致病微生物特点采用抗生素或抗病毒治疗,更严重时可能还需激素治疗,这些属于西医方式;中医药对肺炎

一般分两类——寒性和热性,若是寒性则温化寒痰,若是温热性则需清热解毒,中医通过辨证施治来改善症状、促进康复、缩短疗程,效果同样很显著。



吴龙仁 延边大学附属医院副院长 感染科主任 (第20期研究员) 「传染病危害性」

传染病的危害不尽相同。大可导致某个传染病在人群当中的突然爆发甚至是全球性流行。小可造成人体的各个组织,脏器或者其他的一些系统出现相应的病症。传染病的危害较大、需要引起足够重视。



顾 锐 中日联谊医院副院长（第 28 期研究员）
「微光成炬，“疫”路同行——方舱支援和综合治疗区组建」

开舱 20 天，持续奋战 480 个小时，全舱累计收治 3970 名患者。这就是吉林大学中日联谊医院医疗队所在的通源方舱医院。3 月 14 日晚 8 时，彼时还是一座空楼的通源方舱医院，相继进驻了来自吉林大学中日联谊医院的医护人员。这是一支由吉林大学中日联谊医院副院长顾锐担任领队，神经外科护士长屈冲任副领队共 149 名精兵强将组成的医疗队。他们星夜集结、迎难而上。在全体医疗队员的共同努力下，方舱医院以最快的时间开舱收治患者。由于患者中大部分有慢性基础疾病，为保证患者得到及时、有效的治疗，医生在每日查房时，对高龄、儿童、有基础疾病

的患者格外关注，如有不适及时启动胸部 CT、全腹部 CT、头部 CT 等检查，保障了患者能够及时得到有效救治。越是艰险越向前，不向困难低头，不在挑战面前退缩，这是吉林大学中日联谊医院支援通源方舱医院医疗队在抗疫前线的缩影。



李肖肖 中国医科大学附属第一临床学院胸外科和平院区护士长

「疫情突发下 - 护理团队快速组建管理经验分享」
李肖肖护士长讲述了抗疫期间的工作经历和感受，用专业知识、精湛技术、真挚情感、生动事例再现了抗疫工作的场景。体现了护理人员时刻以病人为中心，在疫情关键时刻不惧生死、逆行冲锋的无畏精神，彰显了作为一名护士的使命和责任担当。

◆东北地区分会学术交流会各省市实施负责人

吉 林 省：赵树华 吉林大学中日联谊医院中医科教授（第 4 期研究员）
辽 宁 省：许 顺 中国医科大学第一临床学院教授（第 15 期、第 41 期〈共同研究型〉研究员）
黑 龙 江 省：李显筑 黑龙江省中医药科学院教授（第 8 期研究员）



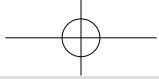
吉林省长春会场及合影



辽宁省沈阳会场及合影



东北分会会场



2022年笹川同学会西南地区学术交流会

2023年3月18日在云南省昆明市召开了2022年度笹川医学奖学金同学会西南地区分会。会议主题为“智慧医疗与健康”，会议采取线上线下相结合方式进行，主会场设在四季如春的昆明，分会场设在成都，

重庆的老师也前往昆明参加了会议。

赵群理事长代表同学会致辞，日中医学协会事务局池田龙也副局长代表协会致辞。

◆讲者



冉玉平教授（笹川4期生）针对脱发的诊疗进行了演讲。

中国2.5亿人受脱发困扰，脱发与我们的激素水平、遗传关系密切，父母如果有脱发的情况，子女比起其他人发生脱发的风险增加。此外，压力、疾病、怀孕等都可能引起体内激素水平的变化也会导致脱发。化疗药物、血液稀释剂、控制高血压药物和避孕药物可能引起暂时性脱发。自身免疫病可引起斑秃。

正常人每天大约会掉落50~100根头发，超过100根头发，就需去医院就诊。冉教授在演讲中详细介绍了脱发的原因，治疗方法及日常的注意事项，参会人员都被冉教授幽默的演讲所吸引，受益匪浅。



李松教授（笹川10期生）针对“智慧医疗发展与健康”进行了演讲

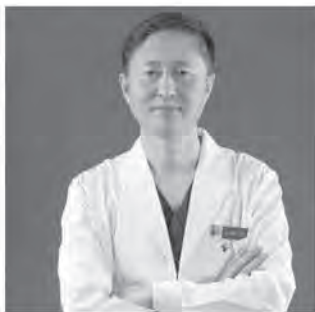
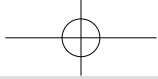
智慧医疗以人为中心，同时关注疾病与健康。充分利用飞速发展的信息通信技术，颠覆式地创新健康数据的采集、传输、存储、处理和展示技术，借助强大的计算能力，医疗行业会融入更多的人工智能，实现真正意义的医疗智能化。我国长期存在着“看病难、看病贵”的问题，医疗资源匮乏、分布不均、效率低下是根本原因，但随着我国经济的发展，人们对医疗和健康需求仍将持续快速增长。人口老龄化、慢性病、健康管理、健康大数据等问题需要我们积极应对；自助医疗保健、动态健康评估、随时信息获取等新的需求不断涌现。医疗是一个兼具知识密集和劳动密集要求的特殊领域，专业人员必定稀缺，人们对健康的追求永无止境，只有极大地提高效率，才能得到满足。“互联网+医疗”不仅是大势所趋，更是核心需求，通过融合和颠覆，将蜕变出全新的智慧医疗。



熊宇教授（笹川34期生）

针对“太赫兹技术在牙科领域的应用”进行了演讲。

现代科学研究数据表明，太赫兹脉冲成像可提供牙釉质、牙本质、与泵腔等方面有效的诊断信息。许多研究者一致认为太赫兹时域光谱技术可提供牙科医生有效的检测手段，至少现在可采用太赫兹时域光谱技术来确定牙釉质的厚度。另外，太赫兹时域光谱技术可提供牙釉质和牙本质区域内的图像。此外，通过太赫兹脉冲在牙齿内的吸收可识别出髓腔区域，并提供给牙科医生重要的信息。



李明哲 教授(笹川28期生)
针对“复杂条件的口腔种植修复”进行了演讲



成都分会场



昆明主会场

2022年笹川同学会西北地区学术交流会



2023年2月25日(周六)笹川医学奖学金同学会西北地区分会学术交流会在陕西、山西、新疆3个地区以线上线下相结合的方式召开。

本次学术交流会,笹川同学会赵群理事长、李忠金秘书长前往西安主会场,与陕西、山西、新疆线上

线下共98名同学一起参会。日中医学协会工作人员也线上参会,加深了与同学们的沟通交流。

本次学术交流会的主题是“医学教育的现状与课题”,4名讲者分别进行了演讲。

首先由临床检验和护理领域的同学就医学生教育的现状和课题,结合自身经验发表了演讲。

新疆维吾尔自治区人民医院高血压中心的任映丽护士长作为特邀讲者,就25年间活跃在天山南北的高血压防治小组的活动进行了介绍。西安交通大学医学部研究生张令同学(由笹川同学会推荐)作为JST樱花科技项目的学员,就自身医学生成长之路做了演讲。

◆讲者



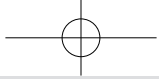
李卓 西安医学院第一附属医院检验科主任(第39期研究员)「检验医学专业本科生教育的体会与思考」

医学检验是一门实践性强的学科,强调培养和锻炼学生的实践能力、创新精神。在对检验本科教育的思考和探索过程中,希望通过设置合理的课程体系,开展教学改革,能够培养出基础宽厚扎实,动手能力

强,综合素质高,具有创新竞争意识的实用型检验医学高级人才,不断提升本校医学检验专业在国内的影响力和竞争力,为学科长远发展奠定基础。通过培养高素质的检验医学从业人员,能够为促进我国检验医学及医学科学的发展进步做出贡献。



张令 西安交通大学医学部研究生「医学生的成长之路」



李 莉 山西医科大学第一医院护理部副主任、副教授（第 44 期研究员〈共同研究型〉）「新时代护理专业学位研究生教育的现状与思考」

MNS 研究生培养是获得临床实用型高级护理人才的主要渠道。掌握 MNS 研究生的职业定位，促进其对于临床护理工作的热爱，努力提高临床医学知识、临床技能水平，培养正确的价值观和择业观才能保证我国 MNS 培养向正确、有效的方向发展。在不断探索中规范 MNS 研究生最科学有利于学生全面发展的课程设置、学位考核及临床实践实施、管理办法，学院与医疗培养单位为 MNS 研究生的全面发展提供良好的平台，促进专业能力培养及实践考核与特定护理职业人才评价标准有机衔接，充分施展其科研、实践能力，根据其职业选择的倾向及职业发展跟踪情况采取有效的思想指导，在临床中建立良好的科室氛围，使其对临床工作有积极的职业定位，发挥 MNS 研究生在临床中应有的对护理事业发展的推动作用。

任映丽 新疆维吾尔自治区人民医院高血压中心护士长「天山南北活跃着一支高血压防控团队」

下基层面对面进行医疗扶贫，对医疗诊治能力的提高和高血压等慢性病管理工作、对提高基层医疗卫生单位防病、治病、减少并发症带来的严重后果，造福广大的百姓将起到重要作用！义诊活动不但提高了基层医务人员对高血压的筛查、诊断、临床用药及管理等专业知识水平，对提高高血压疾病整体诊治水平起到了积极推动作用。

◆西北地区分会学术交流会各省负责人

陕西省：李国栋 西安交通大学外国语学院副教授（第 16 期研究员）

山西省：李燕萍 山西省卫生厅国际交流中心教授（第 22 期研究员）

新疆维吾尔自治区：李南方 新疆维吾尔自治区人民医院高血压中心主任、新疆高血压研究所所长（第 7 期·第 40 期研究员〈共同研究型〉）



陕西西安会场



新疆维吾尔自治区乌鲁木齐会场



山西太原会场